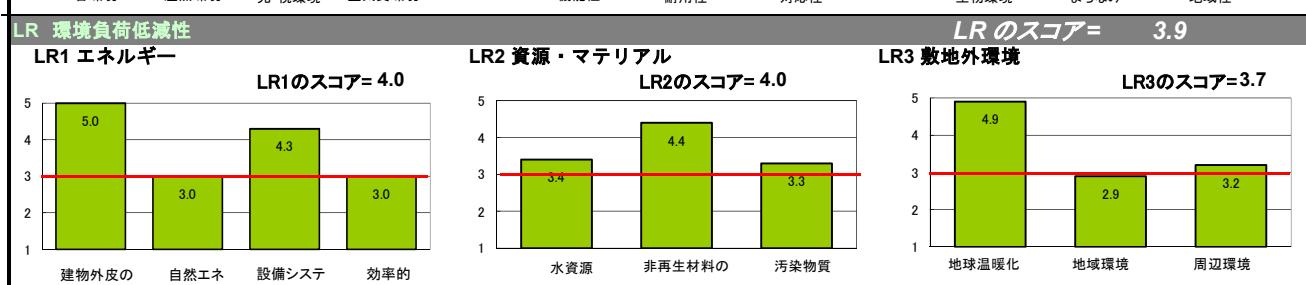
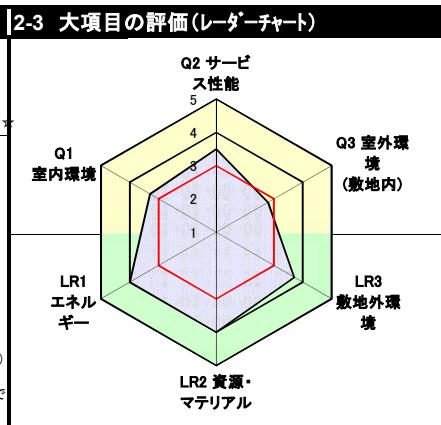
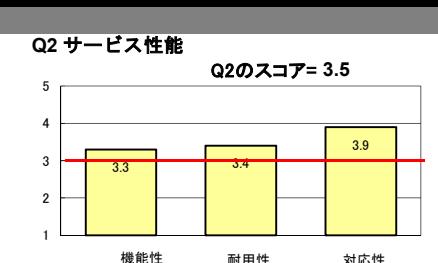
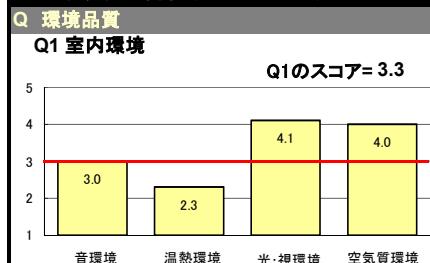
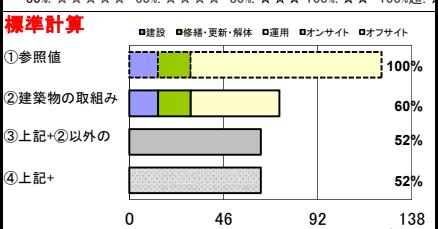
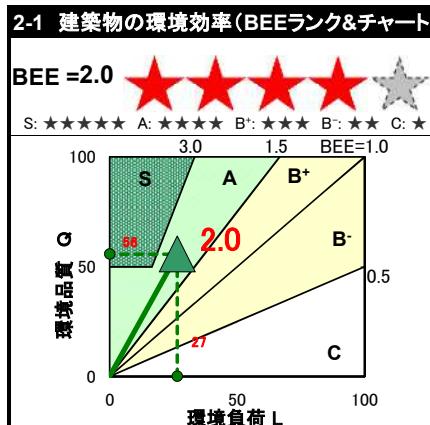


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	いすゞ自動車藤沢工場開発実験棟新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県藤沢市土棚8番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	40~80 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	7,550 m ²	作成者	五洋建設株式会社 本社一級建築士事務所
建築面積	5,865 m ²	確認日	2024年7月1日
延床面積	27,408 m ²	確認者	五洋建設株式会社 本社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

卷八

- ・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。

その他

Q1 室內環境

- ・ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用し、全館
室内の良好な空気質環境の確保を図っている。

Q2 サービス性能

- ・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外理墳（數地內）

LB1 丁亥儿年

- ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。

IP2 資源・マテリアル

- ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時における

IP3 教地外環境

- ・燃焼設備を設げず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ CASEB: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負担), LR: Load Reduction (建築物の環境負担削減), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、資源資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。